



1961

いちきゅうろくいち

作・振付・演出.....三浦太紀

えんまちょうのなかみ

... 閻魔帳の中身

II.5 [水] 16:30/19:30 \*開場30分前

草月ホール tel.03-3408-9113 \*銀座線・半蔵門線「青山一丁目」徒歩5分

全指定席5,000円

お問合せ: tel/fax 042-376-6673 (村山)

tel/fax 042-316-3750 (ボンザグラム)

e-mail bonanzagram@trad.ocn.ne.jp

dancers.....

**櫻井マリ・水野知美**

**穴吹 淳・三浦太紀・沼田晃平**

staff.....

照明：東原修・斉藤香 音響：吉塚永一 舞台監督：依田直之 graphic：coppice  
協力：荒木真人 制作：村山香澄/BONANZAGRAM

#### BONANZAGRAM (ボナンザグラム) について

1995年4月、三浦太紀を中心に様々な表現活動の場…“何でも屋”的な発想から  
(BONANZAGRAM)というユニットを結成。

以後、「裸になった王様」(95)、「73歩のMARCH」(96)、「ブレーメンの音楽隊 97」(97)。

1998年から「LE PETIT PRINCE」(98)、「ハーメルンの笛吹き男」(99)。

「HALLUCINATION…風」(00)、「Behind the mask」(01)、「The Ill dimension」(02)。

「じゅん・こしまだ」(03)をアートスフィア劇場にて連続公演。

「裸の王様/Nimby」(04 俳優座劇場)、「百花∞夢幻」/「Qualla」(05 アートスフィア劇場)。

06年には前年好評だった「Qualla」を再演すると同時に、

同じ曲目曲順で全く別の作品に仕上げた「Qualla...evolution」(俳優座劇場)を併演。

07年「ハーメルンの笛吹き男」(青山円形劇場)は、円形舞台とその客席裏側の通路までをアクティグエリアとし、

観客の正面のみならず背後でも踊られるダンスや、様々な方向から聞こえてくる楽器の音と

ダンサーの発する声のみで進行するという大胆な演出で再演。その後も毎年、

「intermezzo」(08 東京芸術劇場中ホール)、「finite space 私たちの小さな船」(09 草月ホール)。

「Intention or Web...A side, B side」(2010 東京芸術劇場中ホール)。

「百花∞夢幻」(2011 日本青年館大ホール)、「Metamorphosis... 変身」(2012 草月ホール)では、

舞台上に山ほどのペットボトルをばらまき、ダンサーはそれを踏み潰しながら踊った。

「3R...私たちのブレーメン」(2013 草月ホール)では、加齢をテーマにした。